

令和5年度第1回芳賀町総合教育会議録

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 期 日 | 令和5年8月22日(火) |
| 2 | 場 所 | 芳賀町役場大会議室 |
| 3 | 開 会 | 午後1時30分 |
| 4 | 出席者 | 町 長 大関 一雄
教 育 長 古塚 秀一
教育長職務代理者 沼能 寿之
委 員 黒崎 厚央
委 員 塩野 由子
委 員 山口 友也 |
| 5 | 出席職員 | 学校教育課長 小林 芳浩
生涯学習課長 仲尾 周
学校教育課指導主事 高橋 輝秋
学校教育課指導主事 松本 薫
生涯学習課スポーツ振興係長 中上川 了 |
| 6 | 書 記 | 学校教育課課長補佐兼係長 野沢 幸代 |
| 7 | 議 題 | 中学校スクールバスについて
部活動の地域移行について
二十歳のつどいについて |

8 議事の内容

発言者	内 容
<p>小林課長</p> <p>大関町長</p>	<p>ただいまから令和5年度第1回芳賀町総合教育会議を開会します。開会にあたり、大関町長からご挨拶をお願いします。</p> <p>皆様こんにちは。</p> <p>本日は令和5年度第1回総合教育会議にお集まりいただきましてありがとうございます。教育委員の皆様には日頃から教育行政の発展にご指導ご協力をいただき、大変ありがたく思っています。</p> <p>私は今年の5月18日に就任し、3か月が経ったところですが、就任後初めての総合教育会議となります。教育委員会の皆様と円滑に意思疎通を図り、芳賀町の教育課題に目指す方向を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、5月8日に第5類に移行したことに伴い、町のイベントや学校行事等もコロナ禍前の日常に戻りつつあります。そのような中、今週8月26日には、いよいよLRTが開業となります。通勤、通学はもちろんですが、開業を機に交流人口、定住人口の増加につながるよう町の活性化にも取り組んでいきたいと考えております。来年3月には町制施行70周年を迎えます。LRT開業から1年間を町制施行70周年の期間と位置づけ、記念の冠事業として実施していきたいと考えておりますので、教育委員会の事業に関しましても、ご協力をお願いいたします。</p> <p>また、すでにご了承をいただいておりますが、沼能職務代理者には町振興計画審議会の委員をお願いしています。町民の皆様の声を反映した第7次芳賀町振興計画を策定したいと考えており、8月31日に第1回の審議会を開催します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>町の教育大綱につきましても計画期間が今年度までとなっており、来年度改訂となります。振興計画の策定と合わせて見直しをしたいと考えています。</p> <p>本日の会議ですが、中学校のスクールバス、中学校部活動の地域移行、二十歳のつどいが協議事項になっていますので、皆様から忌憚のないご意見をいただければと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
<p>小林課長</p>	<p>続きまして、議事録署名人の指名を行います。議事録署名人は、芳賀町総合教育会議運営要綱第4条第3項に基づき、町長が指名することになっておりますので、町長から指名をお願いします。</p>

発言者	内 容
大関町長	議事録署名人に黒崎委員と山口委員の2名を指名しますので、よろしくをお願いします。
小林課長	それでは、これより協議に入ります。当会議の議長は、会議運営要綱第3条に基づき、町長にお願いします。
大関町長	それでは協議に入ります。はじめに(1)中学校スクールバスについての件を協議します。事務局に説明させます。
野沢補佐	(資料に基づき説明)
大関町長	事務局から説明がありましたが、皆様からご意見を伺いたいと思います。
黒崎委員	<p> 昨年の教育民生常任委員会の調査報告書の調査の意見と提言の中で「茂木町のスクールバスの運行状況等資料により調査した結果、地域性があり、当町における平坦な地形では従来のまま通学路を活用すべきである。なお、一部区間に歩道が整備されていない箇所もある。歩道の整備と防犯体制の強化に努められたい」と議長宛てに提出されています。当時の教育民生常任委員会の委員長は石川議員で、副委員長は八ツ木の丘の住民である中村議員です。8月1日発行の議会だよりにより、中村議員の「南北をつなげる公共交通の進捗状況と今後の予定は」という一般質問がありました。町長が「昨年度から進めている運行計画案を作成するため、移動需要の整理分析など幅のある検討を実施し、進めているところです。世帯数が増加している地区では高校生世帯の増加を見込み、その後の進学や就職につながります。ルートは八ツ木エリアから芳賀町工業団地トランジットセンター経由橋場路線バス停への接続を考えています。朝と帰宅時間のピーク時運行を基本に考え、諸条件を勘案して計画します。」と答弁し、その後に建設産業部長が「令和6年4月からの運行を予定し、ルートは今年の秋頃、ダイヤなどは来年の2～3月頃、できるだけ早く町民の皆様にお知らせすることで利用促進につなげていきます。」と答弁しています。これは高校生の需要が増加することが前提にあるようです。「町の中心である祖母井やスポーツ施設までのアクセス、中学校の路線バス利用などの考えは」という問いに対しては、建設産業部長が「スクールバスとしての利用についても、今後計画策定する中で検討しているところです。皆様からの声も伺いながら段階的に、利用しやすい路線を作っていきたいと考えます。」と答弁しています。検討と言っていますが、行政で言う検討というのは前向きという話で、検討した結果、普通はノーとは言わないと思います。そう考えると、答えは出てしまっ </p>

発言者	内 容
大関町長	<p>ているのかなと思っています。</p> <p>6月議会の一般質問は、メインは中学生というよりも、一般のLRTを絡めた公共交通充実の中で、東西はバス路線が充実し、LRTが開業した翌日から、祖母井方面に来るバス路線もかなり増え、1時間に1本以上のバス路線ができます。そうすると町として今一番足りない交通網は、以前から計画にはありましたが、南北をつなぐ路線だということで、具体的な方法を今年度検討しているところです。その中のひとつの検討事項として、この中に出ているような問題点、中学生のスクールバスもこれからますます問題点として出てくる可能性があるのも、そのようなことも視野に入れながら、来年度からそれができるかという、それはこれからの検討になりますが、南北軸を作る中で、そのような手段も取れることがあるかもしれないので、十分考慮していかなければならないと思っています。スクールバスに関して、これを何とかするという前提での話ではありませんが、町全体として考えた課題のひとつとして捉えていただきたいと思います。</p>
黒崎委員	<p>私の自宅も6キロ圏内の外で、孫も今後お世話になる話です。高校生を持つ世帯からすれば実施していただければと思いますが、費用の問題もありますし、八ツ木の丘住民の会のアンケートの結果の統計の取り方については、教育委員会でも指摘がありました。要望書の自由意見についてもいろいろありましたが、中学生の通学距離が長いからと言っても、自転車通学ですし、芳賀町は茂木のような山間部ではありません。</p>
沼能委員	<p>個人的に要望を考慮すると、あるに越したことはないと思いますが、スクールバスを運行する費用が町の北部だけで年間1,600万円、南部も運行すると同じような費用がかかると考えたときに、町の財政状況を十分踏まえた上で、スクールバスだけにその金額をかけてよいものかを考えて判断する必要があると思います。</p>
黒崎委員	<p>小学校の登下校は決まった時間ですが、中学校は朝練があつたり、夕方は部によって下校時刻が違ったりして、バスの対応が非常に難しくなると思います。</p>
塩野委員	<p>子どもたちの利益を一番に考えることが大切だと思います。学生の時は、部活の後で友達と話をしたり、一緒に帰ったりすることがとても大事だったりします。それがスクールバスを運行することによってできなくなると思います。一方、長距離の自転車通学は、通学時間と体力が大変なのかなと思います。部活をやって勉強もするには時間</p>

発言者	内 容
大関町長	<p>は大事だと思います。どちらが子どもたちの利益になるのか判断しかねます。スクールバスは、八ツ木の丘の生徒数が89人ですから大型バスが2台、夕方も2台、予算もどんどん膨らんでいくと思います。町としてはどのように考えているのかお聞かせいただければと思います。</p> <p>私は元役場職員で、財政も長く経験しました。小学校が9校から3校に統合するとき、町の経費がどのくらい削減できるのかを試算をする一方で、スクールバスにかかる経費は、最初は3,000万でした。それが今は8,000万円となっています。現在では統合した際の財政的なメリットは少なくなっています。教育にけることができる町の予算は、年度ごとに大きく増減するものではありません。スクールバスに予算をかけることになると、場合によっては教材や教育に必要な部分で我慢してもらわないといけないということもなってきます。そうすると子どもにとってマイナスの部分が大きくなってきますので、町としては慎重に考えていかなければならないと感じています。冒頭にもお話ししましたが、LRTの開業に伴い、町民の皆さんは公共交通が便利になると期待しています。バス路線を増やしてほしいとか、デマンド交通でもっといろんなところに行けるようにしてほしいとか。スクールバスも含めて、それぞれで対応するのか、町として合理的にできるものはないか検討し、町の公共交通網が便利になるような手段を探っていきたいと考えています。南北軸については前々年から検討しており、3月議会の際にも実施する方向で答弁していた経緯もありますので、6月議会ではその延長線上で答弁をさせていただきました。これから工業団地の中でもバスが走るようになります。それに数千万円をかけますが、それがどのくらい使われるかは未知数です。それらを数年かけて検証し、公共交通の体系について具体的に探っていきたいと考えています。</p>
古壕教育長	<p>中学校スクールバスの要望書提出の記事が新聞に出て以来、町民の生の声を随分聞いています。これについては、第一当事者である子どもたちの意見や学校の意見も聞いてみたいと思います。公共交通の検討を進めると同時に、中学校全校生にアンケートをとって、どのような交通手段で通学しているのか、雨天時はどうしているのか、今後どうしてほしいのかを教育委員会として集約し、それをもとに公共交通に反映する、あるいは要望書を提出してくださった方に回答するという事で、幅広く意見を聞いて意見を集約する方向性がいいと思って</p>

発言者	内 容
大関町長	<p>います。要望書の提出者には、時間がかかるということは伝えてあります。</p>
大関町長	<p>スクールバスと裏腹な問題で子どもの体力の問題もあると思います。芳賀の子たちは体力が高くないということもありますので、そういった面でも、子どもたちのためにはどちらがいいのかという選択は、しっかりとしていかなければならないと思います。</p>
委員全員	<p>他に皆様からご意見はありますか。</p>
大関町長	<p>(意見なし)</p>
大関町長	<p>まずはアンケートなどで子どもたちの意見をとっていただいて、それからまた進められればと思います。</p>
松本指導主事	<p>それでは次に(2)部活動の地域移行についての件を協議したいと思います。事務局の説明をお願いします。</p>
松本指導主事	<p>それでは、私からは部活動の地域移行についての概略を説明させていただきます。(資料に基づき説明)</p>
中上川係長	<p>私からは、事務局で話し合った内容について具体的なお話をさせていただきます。(資料に基づき説明)</p>
大関町長	<p>事務局から説明がありましたが、皆様からご意見やご質問がありましたら伺いたいと思います。</p>
黒崎委員	<p>土日の部活動を地域移行すると思っていましたが、松本先生の説明では、土日という説明はありませんでした。指導者は職業を持っているため、土日は何とかなるような気がしますが、平日は難しいような気がします。</p>
中上川係長	<p>もうひとつ、総合型スポーツクラブを立ち上げるとtotoの助成がもらえるということですが、詳細を教えてください。</p>
中上川係長	<p>総合型スポーツクラブを設立する際に、最初の5年間はtotoの助成金制度があり、人件費や物品の購入などに使うことができます。先進自治体の話を聞きますと、最初の5年は助成金で運営していたが、助成がなくなる6年目以降は自治体からの補助金で運営しているということです。自治体の予算の都合もあるため、思うような活動ができず、休止となっているクラブも増えているようです。</p>
中上川係長	<p>指導は地域の方をお願いするので、週3日や土日に指導していただくのは難しいと思います。指導者が週1日しか来られなくても、他の日は保護者の方など、安全指導員に練習場所に居ていただければ、緊急の場合に対応できます。学校の先生方の中にも部活動で指導したい方や部活動をとおして生徒と関わりたい方もいると思います。部活</p>

発言者	内 容
松本指導主事	<p>動が地域移行したからといって、先生が部活動から完全に離れることはないと思っています。もちろん先生方の意向はお伺いしますが、例えば平日の夜間に交代で週1回出ていただいたりして、皆様の協力を得ることができれば、できるのではないかと考えているところです。</p> <p>補則をさせていただきますと、黒崎委員がおっしゃったように当初は土日を想定して検討していましたが、土日に限定してしまうことによって活動が難しくなるのではないかとという考えもありました。国は基準を土日としています。指導をしてくださる方の都合もありますので、必ず土日でなくてはいけないということではないと思います。子どもたち主体で考えると、子どもたちは自分の興味関心に合わせて放課後の時間を有効に使うというイメージに近くなるのかなと思います。これまでは教職員の人数の問題もあるため、決められた部活動しかできませんでした。地域には様々な能力を持っている人がいます。部活動を地域に開放することによって、芳賀中学校にない部活動をやりたいという要望も出てくると思います。それについても指導体制を整えば可能になります。文化面についても地域にはさまざまな文化活動をしている方がいますので、子どもたちはアートや吹奏楽に限らず他の活動ができるようになります。最終的にはそのようになっていくと思っています。</p>
塩野委員	<p>部活動が地域に移行されると、それぞれの活動には費用がかかります。それによって格差が生まれるのではないかと考えているのですが、補助などは考えているのでしょうか。負担なく活動できるのが望ましいとは思いますが、どのように考えていますか。</p>
中上川係長	<p>会費収入は必要になると思います。事務局としては、生徒の家庭的な状況によってスポーツができる、できないの格差が生まれてはいけないと思っています。どのようなかたちで生徒の負担を減らせるかを考えているところです。</p>
塩野委員	<p>地域移行したことによって新たな負担が増えないようにお願いします。</p>
中上川係長	<p>つくば市や都内では、会費が月1万円と高いのですが、指導者が筑波大学の学生だったり、民間のスポーツクラブのプロの指導者だったり、レベルの高い指導が受けられるようですが、今度視察に行く宮城県では年間3,000円です。運営している総合型スポーツクラブが市からの補助を活用して保護者の負担を減らしているようです。先進事例を参考にしながら、芳賀町の子どもたちの負担が増えないよう</p>

発言者	内 容
山口委員 中上川係長	<p>したいと思います。</p> <p>令和7年度末までに、どの程度進める予定ですか。</p> <p>国の方針では中学校1校で1つの部活動の移行が行われていればよいとされています。移行して最初のうちは、練習時間が短いということも想定されますが、子どもたちもひとつの競技に限定しなくてもいいのかなと思います。月曜日は野球、水曜日はサッカーなど、やりたいスポーツに参加するような方法もあると思います。教室やクラブも、楽しく運動したい子たちもいれば、本格的にやりたい子もいると思います。そういった子たちをどうするかという課題もあると思います。</p>
大関町長	<p>先日、学童野球の応援に行きました。今、学童野球は各小学校でチームを作ることができずに、合同チームになっています。中学校の部活動以外にも問題があるので、考えていかなければならないと思っています。</p> <p>部活動の地域移行の件については、今後検討会で進めていくということですので、その進捗を見ていくということでもよろしいでしょうか。</p>
委員全員 大関町長	<p>異議なし。</p> <p>それでは次に（3）二十歳のつどいについての件を議題とします。事務局の説明をお願いします。</p>
仲尾課長 大関町長 黒崎委員 仲尾課長	<p>（資料に基づき説明）</p> <p>この件について、ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>10人の実行委員はどのような人なのか。</p> <p>生涯学習課で選考したのではなく、中学校の卒業時に生徒たちの中から選ばれた人です。</p>
古塚教育長 塩野委員	<p>同窓会の役員です。役員が二十歳のつどいの実行委員となります。</p> <p>主催を実行委員会にした場合、委員の負担が増えるというのは、どういふ負担が増えるのでしょうか。</p>
仲尾課長	<p>町が主催の場合とほとんど変わりません。町としては、これまでどおり支援をしていきます。</p>
塩野委員	<p>実行委員会が二十歳のつどいを主催するということが負担になったのだと思います。</p>
仲尾課長	<p>主催が自分たちの代で町から実行委員会に変わるの荷が重いということでした。</p>
塩野委員	<p>主催が変わるのは、どのような理由ですか。</p>

発言者	内 容
古塚教育長	<p>経緯をご説明しますと、成人式から二十歳のつどいに変わる前年に、実行委員会を立ち上げて、実行委員会が主催しようということになりました。それを総合教育会議に諮ったところ、前町長が「町が主催し、祝うものだ」という思いだったため、町主催となってしまった経緯があります。今回、町長も変わり、実行委員会主催にできればと思っていたところでした。</p>
山口委員 仲尾課長 塩野委員	<p>実行委員会の会議は何回程度あるのですか。 例年ですと3回です。 今年は町主催ですが、来年度以降は実行委員会が主催できるよう生涯学習課で支援をお願いします。二十歳のつどいを自分たちで作りに上げる喜びを感じられると思います。</p>
仲尾課長 大関町長 委員全員 大関町長	<p>承知しました。 他にご意見はありますか。 (意見なし) 協議は以上ですが、協議事項以外に、皆さんからご意見があればお伺いします。</p>
委員全員 大関町長	<p>(意見なし) ないようですので、本日の協議を終了したいと思います。進行を事務局に戻します。</p>
小林課長	<p>以上をもちまして令和5年度第1回総合教育会議を閉会させていただきます。慎重にご協議いただき、ありがとうございました。</p>

9 開 会 午後3時10分